

## (別紙4-1) 重点戦略③ 「人材育成と若年層の流出対策への取組」

### 地域資源

- ものづくりや自然等に関して深い知識と技術を持つ人材の豊富さ
- 学習内容を実践できる恵まれた環境
- 他都市からの人口流入に対応できる都市基盤と一定の都市機能、アクセスの良さ(空港, JR, 道路網)

### 顧客ニーズ・ターゲット

旭川環境の中で学習の機会を必要としている学生・社会人

### 施策・事業①

#### ●地域産業の後継者を育成する目的の高等教育機関の設立

- 地域の主要産業であるものづくりの基礎を学ぶ「木工家具学科」を設置
- スキー場運営及び山岳スポーツを支える人材を育成する「マウンテンリゾート学科」を設置
- 大都市で埋もれている人材が魅力を感じて移住→知識・技術を習得し地元のブランドとなる
- 旭川の産業と関わりたい者に、学べる場、同じ志を持った同世代と出会える場を提供
- 市内の小中学校で地域の産業(木工加工業, 観光業, 農業等)と歴史を学ぶカリキュラム(授業や実習)を必須とし、地元への愛着, 興味を養う
- カムイスキーリンクス等が実習会場として利用され、卒業生が周辺スキー場や山岳フィールドの運営を支え、マウンテンリゾートの専門家の養成機関として認知される
- 地元産業, 学生, 卒業した社会人を結びつけ、産業発展を中心とした「まちづくり」へと発展

### 補助施策

#### ●マイスター制度の導入

- 専門知識を早くから習得できるよう旭川マイスター(職業訓練)制度を導入
  - ※製造業(家具, 建具, クラフト, 機械, 金属等), ネイチャーガイド, ラーメンや焼鳥職人等
- 職人の地位向上と技術力の維持・向上→教育機関の魅力向上→学生・労働力の流入

### 発展イメージ

- 高等教育機関の発展により、人口流入→人材育成(愛着心の醸成)→雇用創出のサイクルが確立
- 旭川市自体がブランド化(優秀な人材, 高品質な製品, 高品質なアウトドア環境)

### 現状・課題

- 人口減少からの全企業の職員の減少, 質の低下
- 雇用者も従業員も安心して働ける環境の整備
- 大学が一つ無くなったということは深刻な問題
- 技術を学んだ学生の就職先の少なさ
- 若年層の旭川市外への流出が著しく多い
- 故郷に対する愛情の希薄さ, 愛着心の無さ

### その他

#### [木工家具分野]

- 地元学生や家具職人によるデザインコンペの開催, 情報発信

#### [マウンテンリゾート分野]

- 世界レベルのアスリート(スキー, スノーボード, マウンテンバイク, トレイルラン等)を旭川で育てるプロジェクトを立ち上げ, 選手育成を行う
- 冬季スポーツ(パラスポーツ)強化拠点として, 道北地方の多くのスポーツ拠点と連携

#### [共通]

- 公的もしくは地元企業による奨学金制度を設立
- 雇用の受け皿となる地元企業は, 卒業後に若い社員を活用できる組織づくりや事業展開を図る
- このまちにある製造業や山岳スポーツ等の職場実習なども取り入れ, 全国から関心のある若者が集まる仕組みを作る